

多谷 昇太

一月二〇日頃から恰も晴天の霹靂のようにコロナの報道が国内で流され始めた。中国国内の権力争いとも絡んだコロナ人為説も取り沙汰されて、その後の同ウィルスの進撃は怒濤のごとしである。かつてのスペイン風邪などと比べると感染数・死者数ともそれほどではないと思われるのに、斯くも世界同時パニックの観を呈するのは、マスメディアもあろうがSNSの力が大きかろう。そこにはフェイクもあるだろうがメディア報道とは幾味も違う、ツイートする側の意と立場を込めた、国内のみならず世界各国の報道をも引用しながらの“生きた”つぶやきが充ちている。やたら「大本営発表」が多用されるように人々は政府や資産家・企業家、及びそれらの御用機関のごときマスメディアの云うことを揶揄って、決して鵜呑みにはしていない。かつての大本営発表のように聾筏敷に置かれたままに断然我慢がならないようだ。実際それらツイートの要点をまとめてみると以下のごとくで、こちらの方が却って正鵠を穿っているように見える。一、政府は意図

的にコロナ報道を遅らせ対策を取らなかつたがそれは偏にオリンピックを開催したいが為で、人命を軽視している。二、汚れ意識丸出しのような冷淡さでクルーズ船ダイヤモンド・プリンセスを排除したことへの各国からの批判。三、コロナ検査をしないのは実際の感染者数がバレルからで、これはオリンピック開催の為によくないし、また無対策の実態が知られるから。また病院・医院側の役目を忘れたような感染者忌みと遺棄姿勢があつて、医療崩壊は彼らと政府の言い訳だ。四、欧米各国の国民への補償をも含めた真摯なコロナ対応ぶりを見てやつと動き出す政府。しかし国民労使各界に自粛は要請するが休業補償はしない。これでは我々に死ねと云うに等しいし、マスク二枚はお笑いだ。五、緊急宣言をしてやつと休業補償等対策を遅まきながら発表したのが、108兆円の数字ばかりが踊るばかりで、我々国民への真水である給付金はわずかに6兆円のみ（それも申請時に条件やイチャモンを付けられて実際に支給されるかどうかは疑わしい）。その他の大半の額は企業や株主、国債買い付け等による市場維持に使われるのだろうし、何より円・ドルキャリーのなアメリカへの補填として貢がせられるのだろう（我が

国はアメリカのポチ)。このザマでは国民一人一人に画一的に(連続した)給付金を支給した独・仏などと比べれば見劣りが甚だしい。六、台湾・蔡英文や韓国・文在寅の鮮やかな対応ぶりを目にするに付けてもこのダメ政府を戴く我々はひたすら悲惨で情けない限りだ…。等々。

総じて政府批判一色の観があつてこれでよく安倍三選だの自民連続政権が実現したものと思うのだが、そこはそれで、それに付いてもツイートは喧しい。曰く、インチキ世論調査を発表してメディアが世論を誘導する。替え玉投票だの不正選挙が行われている。愚民政策が功を奏して(テレビの番組表を見れば愚かしいバラエティ一色だ!)50%にも満たない低投票率である反面、自民政権から恩恵を被っているだろう株主や年金裕福層の投票率は高い…などなどである。

私なども概ね右に習って政府批判的なツイートをするのだが、それに止まらずこの国家予算の34%を占める(邪魔な)老齢福祉年金層を狙い打ったようなコロナの「性能」は出来過ぎだし、数では比較にならない発祥地中国に於ては況やと疑われる…などどフェイク的(?)ツイートもついしてしまふ。

かほど左様に下手をすれば経済大恐慌さえも引き起こし果ては戦争…とも恐れられているコロナ大脅威なのだが、しかし考えようによっては我々個人にとつても社会全体にとつても目覚めを促すような効果もあるようだ。個人で云えば私など貧老は働かずに家に居れば(たぶん)餓死するし、致し方なく働きに表に出ればコロナ脆弱者として菌に狙い打ちされるだろう。畢竟死を受け入れる、腹を括るしかないわけで、すれば「やるべき事をやっておこう」という気に本気でなる。一方社会の方だがこの実体経済が金融経済に蝕まれ切ったような、金融資本家どもの奴隷と化したような、抑々の始めから人の借金から始まるイビツな構図の、利子ゴンという怪物に始終追われるような、現信用経済を根本から引っくり返す起爆剤となるだろう。世界各国共に大赤字の予算をこうして組めるといふことはMMT経済が組める、そちらこそが正解だといふことを奇しくも示しているのだ。現今経済は既得権益層どもの度し難い不労所得を支えるものでしかない。以上、私などよりは左記の大西つねき氏のビデオをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=mhPdCyIhToA&t=>

86s